

道路横断中の高齢歩行者の実態（過去5か年）

道路を横断する時は、車や自転車が近づいていないか
安全確認を徹底しましょう！

道路横断中歩行者の死者と致死率(横断歩道や交差点を横断していた場合を除く、単路を横断中。)

高齢者 = 65歳以上の者

致死率 = 死者/死傷者数 × 100

(死傷者100人当たりの死者)

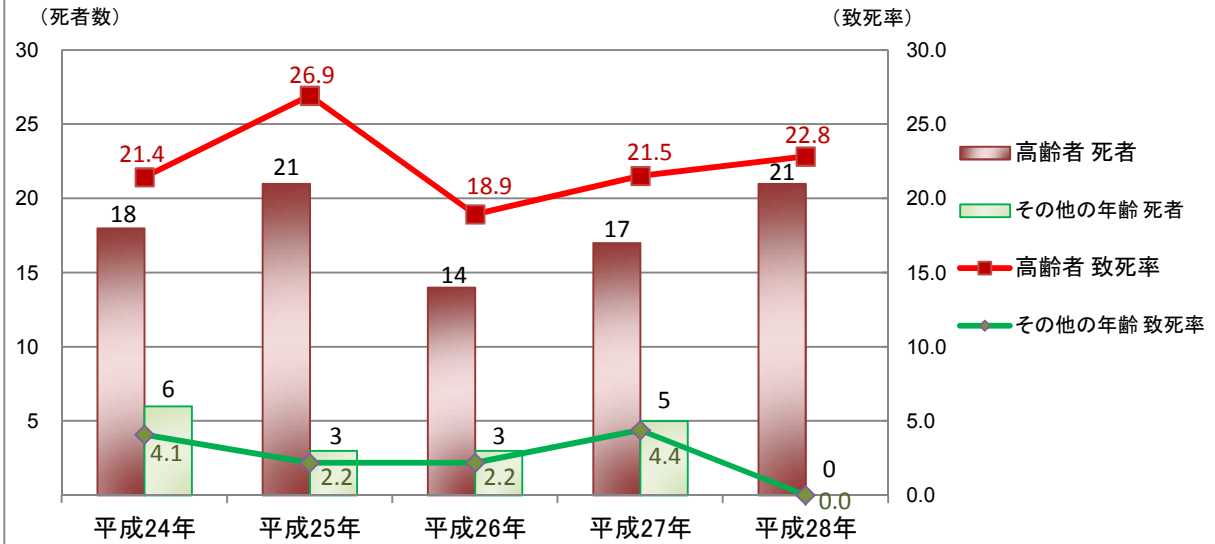
| 平成24年 | | 平成25年 | | 平成26年 | | 平成27年 | | 平成28年 | | | |
|--------|------|-------|--------|-------|-----|--------|------|-------|--------|------|-----|
| | 高齢者 | その他 | | 高齢者 | その他 | | 高齢者 | その他 | | 高齢者 | その他 |
| 死者 | 18 | 6 | 死者 | 21 | 3 | 死者 | 14 | 3 | 死者 | 17 | 5 |
| 傷者 | 66 | 141 | 傷者 | 57 | 135 | 傷者 | 60 | 134 | 傷者 | 62 | 109 |
| 死傷者合計 | 84 | 147 | 死傷者合計 | 78 | 138 | 死傷者合計 | 74 | 137 | 死傷者合計 | 79 | 114 |
| 致死率 | 21.4 | 4.1 | 致死率 | 26.9 | 2.2 | 致死率 | 18.9 | 2.2 | 致死率 | 21.5 | 4.4 |
| (差:倍率) | 5.2 | | (差:倍率) | 12.2 | | (差:倍率) | 8.6 | | (差:倍率) | 4.9 | |

※ (差:倍率)は、「その他の年齢」の致死率に対する、高齢者の致死率の倍率である。

- 「高齢者」と「その他の年齢」の致死率を比較すると、平成24年～28年の5年累計で、「高齢者」の致死率は「その他の年齢」の致死率の**8.6倍**でした。
- 平成28年は道路横断中の死者21人すべてが「高齢者」でした。

| 5か年累計 | | |
|--------|------|-----|
| | 高齢者 | その他 |
| 死者 | 91 | 17 |
| 傷者 | 316 | 636 |
| 死傷者合計 | 407 | 653 |
| 致死率 | 22.4 | 2.6 |
| (差:倍率) | 8.6 | |

高齢者と高齢者以外の死者数及び致死率



高齢者は加齢に伴い、運動能力、知覚・認知能力などが低下するため交通事故の被害に遭うリスクが高く、更には衝突耐性や治癒・回復力も低下するため、交通事故により死に至るリスクも高いと考えられます。

近くに横断歩道がある時は、少しの時間や歩行距離を惜しんで交通事故の被害に遭うより、自分の命を守るため、信号機や横断歩道が設置されている場所を渡りましょう！